

I.那賀川の紹介

1.那賀川の概要

那賀川は、徳島県南部の太平洋側に位置し、その源を徳島県那賀郡の剣山山系ジロウギユウ（標高1,929m）に発し、徳島、高知両県の県境山地の東麓に沿って南下した後、東に流れ、坂州木頭川、赤松川等の支川を合わせ、那賀川平野に出て、派川那賀川を分派し紀伊水道に注ぐ、幹川流路延長125km、流域面積874km²の一級河川です。その流域は、阿南市をはじめとする2市3町からなり、流域内人口は約58,000人となっています。

■ 源流部

■ 高の瀬峡

■ アマゴ釣り

■ 歩危峡

■ 木頭杉一本乗り大会

上流部



那賀川の上中流部において高の瀬峡や歩危峡、鷺敷ライン等は優れた景勝地として名高く、自然豊かな源流は剣山国立公園にも指定されています。上流部では溪流での釣りや水遊び、林間キャンプやカヌー等が行われているほか、つらら祭りや木頭杉一本乗り大会等が開催されています。一方、下流部においては高水敷を利用したスポーツ・レクリエーションのほか、加茂谷鯉まつりや万代まつり等が行われており、豊かな自然を背景として、地域の人々に広く親しまれています。

その反面、河川利用者の多い下流部では、ゴミの不法投棄が見られるなど、河川愛護の啓発を進める必要があります。こうした現状を受け、毎年7月に地域住民による河川の一斉清掃が実施されており、平成14年6月からは清掃ボランティア活動「アドプトネットワーク那賀川」が発足し、各団体による清掃美化ボランティアが行われています。

中・下流部

■ 鷺敷ライン

■ カヌー大会

■ 那賀川橋付近

■ 加茂谷鯉まつり

■ 万代まつり

■ 河川への不法投棄

■ 清掃美化ボランティア

■ 河川一斉清掃